



篠ノ井東中学校学校だより

平成29年度【2017年度】
第3号

平成29年6月30日

発行 長野市立篠ノ井東中学校

人にやさしく、自分によさ
篠ノ井東中学校 創立55周年記念号、平成29年度第3号 印刷数100部

〒 380-8003 長野市篠ノ井小森 840 TEL 0262-292-0135 FAX 0262-292-0137
http://www.ngano-ngn.ed.jp/shinoh.jh/ E-mail shinonoihigashi@jh-naganongn-ed.jp

部活動大活躍

全校での素晴らしい壮行会が実施せられ、多くの部活動が、次の大会や上の大会に勝ち進んでいきました。また、女子ソフトボール部・野球部・男子バレーボール部はベストマナー賞を受賞しました。部活動ですので、勝敗にこだわることも大切ですが、選手・応援団・保護者の皆様が一丸となって真摯な姿勢で大会に臨むことも大切です。本校で3つの部がこの賞を受賞できたことは、素晴らしいことであり、日頃の練習や生活の表れであると思います。現在、上の大会やコンクール・桐章祭に向けて活動中の部、引継ぎをしている部等様々ですが、今後の更なる活躍が期待できます。部活動を通して学ぶことはいろいろありますね。



充実した6月・まとめの7月

傳田梨沙先生 産休

6月は、部活動の大会の他にも様々な授業・行事がありました。グリーンアワー(全校草取り)により、校内がスッキリしてきました。また、PTA講演会での南澤様のお話で、SNSの正しい利用の仕方を学ぶことができました。ご家庭でも改めて、利用方法について一考することができたのではないのでしょうか。人権教育協調月間ということで、授業や委員会でも活動を通して、改めて日頃の生活や友人関係を見直す大切な機会としています。本日実施された期末テスト・復習テストの手ごたえはどうだったのでしょうか。明日から7月です。1学期のまとめの月です。暑さが厳しくなりますが、学習面での充実を図ると共に学年に応じた活動をしていく時期となりました。1年生は、妙高宿泊学習・2年生は、職業体験学習・そして3年生は、進路実現に向けての体験入学が始まってきますね。ぜひ、それぞれ学年で、有意義なまとめをしていってください。

今月上旬に2年生の家庭科の授業で、「赤ちゃんだっこ」が実施され、皆さん笑顔で赤ちゃんに接していましたね。2学年・理科担当の傳田梨沙先生が、来月から産休に入ります。お世話になった先生に感謝すると同時に、母子共に健康で元気な赤ちゃんを産んでくださることをお祈りしましょう。



【グリーンアワー】



【PTA講演会】



6月 校長講話

先日は、長野上水内の体育大会、陸上・野球は北信大会が行われました。各会場では、これまで鍛えてきた力と技を出し合い、素晴らしい試合が展開されました。本校の皆さんも、健闘しました。大会が終わり一つの区切りを迎えましたが、次の目標を目指して今後も努力を続けてほしいと思います。



さて、今月は「人権教育強調月間」ですので、今日は、人権に関する話をします。私は、本校に来て、素晴らしいと思ったことが沢山ありましたが、その一つが「東中人権宣言」でした。

4月のオリエンテーションでは、安永生徒会長さんから、「東中人権宣言」が作られた経緯と、「東中人権宣言」に込められた卒業生の思いなどの説明がありました。

当時、生徒会長として「東中人権宣言」作成の中心となった宮坂友子さんは、いじめを苦に自殺してしまう中学生の記事を読み、「なぜ、学校に行きたくないのか」「なぜ、同じ中学生が自らの命を絶つという道を選ばなくてはならないのか」「東中には、そんな思いをする人は絶対いてはいけない」と思い、人権宣言の作成に取りかかったようです。しかし、人権宣言を完成させることは容易なことではなく、大変な時間と労力を要したようです。ですので、「東中人権宣言」は、当時の東中生の強い決意と願いの結晶であり、東中生が人権について深く考えた証でもあったように思います。

宮坂生徒会長さんは、私たちに、「人権問題を自分のこととして考えてもらいたい」「自信をもって、いじめゼロの学校と言えるようになってほしい」とメッセージを残してくれています。

人権宣言が作られてから10年が経つわけですが、現在の東中はどうでしょうか。今、皆さんは自信をもって「いじめゼロ」といえますか。

「東中人権宣言」には、「東中生はいじめをしない、させない、だましていない、そして絶対許さない」ということが力強く、掲げられています。

私は、本校にこういう宣言があることを誇りに思います。この「東中人権宣言」を、次の代の東中生へ受け渡していくためにも、私たちの生き方の拠り所としてほしいと思います。

先週、私のところに、昨年度の「全国中学生人権作文コンテスト」で表彰された作品を綴った小冊子が届きました。その中に、皆さんにも、考えてほしいと思った作文がありましたので、紹介します。作品は、内閣総理大臣賞を受賞した、沖縄県の伊平屋(いへや)中学校1年の伊禮美朱紀(いれいみずき)さんの「一人じゃないよ」という題名の作文です。

伊禮さんの作品の概要：

自分が友達と一緒に同級生をいじめた経験、同級生からいじめられた経験などを基に、いじめに対して毅然と立ち向かったことを綴った作品。(紙面上、全文は省略)

伊禮さんは作文の中で、無視することを「無言の暴力」、物を隠すことを「行動の暴力」、悪口を言うことを「言葉の暴力」と言っていますね。私たちの中には、こうしたことはないでしょうか。

皆さんに考えてほしいことがあります。作文の中で、「転校生のAさんと、作者の私は、いじめを受けていることを先生や親に話した」とありましたが、どうしてこのような行動が取れたのでしょうか。……私は、「題名の『一人じゃないよ』という思いが持ってたからではないかなと思います。

クラスでも、感想を話し合ってみてください。

「人権感覚は、常に磨かないと鈍る」と言われます。そのためにも、毎年、人権教育強調月間があります。各クラス、学年では、人権に関する学習を進めていることと思います。しっかり、日頃の自分と向き合い、これからの自分のあり方を考えてほしいと思います。そして、本校生徒363名、先生方30人、併せて393人が、「共に学び、共に生きる篠ノ井東中学校」であってほしいと強く願っています。



保護者へ皆様へ

地域貢献の日

明日7月1日(土)は、地域貢献の日【前半資源物回収 後半クリーン作戦】の日です。生徒の自主的活動を目指しての活動ですが、校外指導部の皆様をはじめとして、PTAの皆様方にもご協力をいただいての実施となります。お忙しい折ではございますが、ご協力よろしくお願いたします。
※ 雨天中止の場合は、8日(土)の実施となります。